

近世民家における

意匠操作

― 見せかけ技法と寸法調整技法を通して ―

坂井禎介 著

民家には素朴な美しさがある

人はそもそも民家のどこに

美しさを感じているのだろうか

これまで体系的にまとめられてこなかった部材幅等の民家の寸法をまとめ、それを元に、見せかけの部材や寸法調整技法（特殊な部材幅計画や特殊な部材配置）によって民家の意匠を意匠的にコントロールする「意匠操作」を分析。实例を挙げて分類するとともに、それらの意匠意図や、意匠のこだわりの度合いを明快に示す。



A5判上製函入 本文 344 頁
ISBN 978-4-8055-0967-8 C3052
定価 12,100 円
(本体 11,000 円 + 税 10%)

中央公論美術出版

目 次

第1章 序 論

- 1-1 研究の目的
- 1-2 既往研究（民家の意匠・部材幅）
 - 1-2-1 民家の意匠研究
- 1-3 用語定義
- 1-4 研究対象民家
- 1-5 意匠操作の典型例と章構成

第2章 各種基本寸法

- 2-1 規模
- 2-2 柱幅区分
- 2-3 土間の太い柱幅
- 2-4 座敷の細い柱幅
- 2-5 柱幅と部屋の広さの比例関係
- 2-6 水平材の寸法
- 2-7 水平材成の調整

第3章 垂直材の意匠操作

はじめに

- 3-1 片蓋柱と片蓋束
- 3-2 狐柱と狐束
- 3-3 五平柱
- 3-4 柱幅が異なる場合の畳割調整

第4章 水平材の意匠操作

- 4-1 座敷飾り
- 4-2 指物（指鴨居・胴差・マグサ）
- 4-3 狐鴨居
- 4-4 梁
- 4-5 貫

第5章 その他の意匠操作

- 5-1 軒における意匠操作
- 5-2 床の奥行操作

第6章 意匠操作全体分析

- 6-1 各種技法の類型化
- 6-2 意匠操作数
- 6-3 意匠操作の社会背景

第7章 結論

- 7-1 各章の小結
- 7-2 時代ごとの意匠傾向
- 7-3 地域ごとの意匠傾向
- 7-4 近世民家の意匠操作について
- 7-5 今後の課題と展望

各種一覧表／参考文献一覧／初出一覧／あとがき

著者略歴

坂井 禎介（さかい・ていすけ）

- 2006年 3月 私立ラ・サール高校卒業
- 2010年 3月 国立大学法人東京大学 工学部建築学科卒業
- 2012年 3月 国立大学法人東京大学大学院
工学系研究科建築学専攻 修了
- 2012年 4月～2022年 9月
公益財団法人文化財建造物保存技術協会
技術職員
- 2018年 3月 博士（工学） 東京大学より授与
- 2019年 8月～京都府立大学 生命環境学部
環境デザイン学科 共同研究員
- 2022年 10月～国立大学法人奈良女子大学
生活環境学部住環境学科 専任講師

関連書籍

日本建築史基礎資料集成 第21巻 民家

定価 24,200円（本体 22,000円＋税 10%）

国宝および重要文化財に指定された重要建造物を中心に、その様式を代表する300棟に関する永年の調査・研究の資料を統合・整理した基礎資料集成。各巻は写真、解説、図面の三部から成り、平均15棟の建造物と全般的な概説を収載する。建造物の特徴を示す重要な写真、実測図面を平均120枚も収め、歴史的・実地的な資料集として完全を期するものである。

『第21巻 民家』は、日本の民家建築を代表する国宝・重文21棟を、豊富な写真・図面と共に様式別に整理した基礎資料集成。

〔収録資料〕

旧工藤家、旧渋谷家、旧佐藤家、旧作田家、旧伊藤家、旧広瀬家、旧山田家、曾根原家、坪川家、旧大戸家、石田家、吉村家、古井家、堀江家、旧恵利家、旧椎葉家、旧生方家、旧三沢家、大角家、今西家、木原家

B4判上製カバー装 口絵80頁 図面68頁 解説94頁 1976年4月初版/2005年5月復刊 ISBN 978-4-8055-1121-3

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱い